

< 0 1 >

◆自転車 J I S が改正公示されました◆

3月23日付で下記3規格が改正公示されました。主な概要は以下のとおりです。

① J I S D 9 4 0 2 (自転車—前ホーク)

- ・対応国際規格 (IS04210) を記載し整合化を図った。
- ・前ホークの種類を用途及び構造によって規定し、サスペンションホークを追加した。
- ・主な使用材料の例を削除した。
- ・前ホークのエネルギー吸収性試験の数値を変更した。
- ・疲労試験の規定を追加した。
- ・サスペンションホークのタイヤクリアランス、及び引張強度の2試験を追加した。

② J I S D 9 4 1 1 (自転車—どろよけ)

- ・種類の区分に用途を規定した。
- ・主な使用材料の例を削除した。
- ・接線方向及びハブ軸方向の強度に関する規定、強度試験を追加した。
- ・接線方向及びハブ軸方向の強度試験では、第1段階 (接線方向の試験) および第2段階 (ハブ軸方向の試験) を規定した。
- ・製品の呼び方を規定した。

③ J I S D 9 4 2 0 (自転車—スポーク及びニップル)

- ・スポーク線と呼称されていた部分を“スポーク”と定義したため“スポーク及びニップル”とした。
- ・スポークの繰返し曲げ試験において、折り曲げ位置を明確にした。

なお、今回改正された J I S の内容については、日本工業標準調査会のホームページ (<http://www.jisc.go.jp/>) から閲覧が可能です。

< 0 2 >

◆22年度に改正する自転車 J I S について◆

当協会は自転車 J I S 原案作成団体として、これまで多くの J I S 改正作業等を実施しているところです。平成22年度は以下の2規格について改正を予定しています。具体的改正案の策定については、業界有識者で構成する「国内規格調査部会」において、該当する J I S について審議・検討し、技研ホームページを通じて広く業界関係者からパブリックコメントを徴した上で、最終改正案を取りまとめていく予定です。

■本年度改正する規格 (2規格)

- ・ J I S D 9 1 0 1 (自転車用語)
- ・ J I S D 9 4 2 8 (自転車用ディレイラー)



このメールサービスは、競輪の補助金を受けて提供しています。

<http://ringring.keirin.go.jp>